

一般・スカラシップ入試（A日程） 出題意図

・科目：現代の国語・言語文化

全体を通し幅広い内容の評論文を題材とし、大学で一般教養を学ぶ上で求められる基礎的な理解力・学力が身についているかを選択問題の形式で問う。

第1問と第2問では、漢字の読み書き、語句や表現の正しい意味理解、文章の内容の正確な理解について問う。特に第1問は、近現代の中では初期にあたる時代の文章を題材の一部とし、使用語彙のみならず理解語彙を含む文章の読解力をはかるものである。

第3問では、多肢選択式問題を取り入れ、一まとまりの中文の全体的な流れを正確に理解する力や、概要を把握する力を問う。

第4問は、慣用句や四字熟語等に関する基礎的な知識を問う問題を通し、国語への興味・関心をはかるものである。

・科目：英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ

単なる文法知識の暗記ではなく、多様な文脈における「理解」と「表現」を重視している。受験生が国際社会で直面する可能性のある状況（旅行、環境問題、異文化交流、研究発表など）を素材にし、学んだ英語を「使える英語」として活用できる力を評価する。

第1問と第2問は、旅行体験やサステナブルな衣服利用といった日常的・社会的テーマを扱い、読解力・語彙理解力・情報整理力を問うものである。受験生が実生活や社会課題に関連した文章を理解し、その意図を的確に把握できるかを確認する。

第3問と第4問では文法・語法や語順整序を通して、正確かつ適切な英語表現を産出できる基盤力を評価する。

これにより「読む」「書く」「話す（発表）」に直結する力を総合的に測る。

・科目：数学Ⅰ・数学A

第1問：各単元の基本事項を問う。

第2問：二次関数に関する理解度を問う。

第3問：集合と場合の数（個数の要素）に関する理解度を問う。

第4問：確率（事象と確率、反復試行の確率、条件付き確率）に関する理解度を問う。

第5問：図形の性質（三角形の比）と三角比に関する理解度を問う。